

IFA レフェリートレセン 2024

<日 程>2024 年 7 月 27 日(土)

<場 所>流通経済大学フットボールフィールド/龍ヶ崎フィールド

<参加者>24 名

<時 間>10:00~13:30 | リーグ担当 2 試合・観戦研修/振り返り

18:00 関東大学サッカーリーグ観戦 (開始 15 分雷雨中止)

<担 当>トレセン担当 岡部拓人 柿沼亨 犬飼一郎

【1リーグ担当 2 試合・観戦研修/振り返り】

・主審としてのタイムマネジメント。

試合を運営するものとしてストレスなくリードし、最終決定者としての責任を全うする。

時間に余裕をもってピッチチェックを行い、両チームと共有事項を確認し時間通りに進める。

・重要な事象になる可能性が高いときにどう動いて監視するか。

試合にインパクトを与える事象が発生しそうなときに近づき監視、次の事象に備える。

・見たものにどう反応するか。

選手のリアクションに反応するのではなく、選手からの安心を得るためには自ら動き対応する。

・的確なアドバンテージの適用をするために。

危険なファウルや意図の悪いファウルが起きそうな状況では、ファウルに意識が集中し、周辺が見えなくなりがちであることに注意する。

争点を監視するときの体の向きを意識し、次の争点も見える体の向きをとっておく。

・動きとポジショニング。

全体が見えるように、考えてポジションをとろうとしているのは良かった。

次は、そのポジションから、その後のプレーに対して離されないように、

もう少し動き出しを早くすること、1 段階スピードを上げる動きを入れることを意識。

・観戦していたインストラクター達も試合分析や指摘事項などを共有することができた。



【試合観戦】

対象試合: 関東大学サッカーリーグ 1 部 流通経済大学ー東海大学

関東トップカテゴリーの試合を観戦して求められる能力は何かを共有する。

1リーグで指摘を受けた点について客観視し、どのように試合に影響するかを観察する。

試合から

- ・雷雨の影響で 15 分で中止になってしまいましたが主審としての立ち振る舞いは参考になった。ウォーミングアップ、入場、コイントス、キックオフまで審判チームはもちろん両チームを導き、試合にかける想いを感じることができた。
- ・キックオフ直後から争点に対してメリハリのある動きで近づき、両チームのキープレイヤーのヘディングの競り合いを判定し、ケガ人の対応などスムーズにリードしていた。
- ・主審を担当した審判員を以前コーチしていた茨城のインストラクターから成長の過程を話していただき、トップカテゴリーを本気で目指してから変わったことなど、早く気づいて日常を変える必要性にリアリティをもって感じる事ができた。



昨年から県内で開催されるトップカテゴリーの公式戦を用いた観戦研修をおこなっています。

1リーグを担当した審判員は実際に試合を行った後にすぐにトップカテゴリーの試合を見ることができ、指摘を受けたことや求められていることを客観視でき次の試合に向けてより具体的に整理できたと思います。

審判と技術の意見交換、大学との連携などサッカーに関わる方と同じ試合を共有しながらの意見交換を頻繁に行えるようにサポートしていきたいと考えています。今回のトレセン活動にご理解ご協力頂いた流通経済大学サッカー部、関東大学リーグ、両チームの皆様には感謝申し上げます。

レフェリートレセンの目的

茨城県内の 1 級審判員が中心となり、県内審判員への技術指導・素質向上・情報伝達を中心とした活動。県内の審判員には国際経験を持つ審判員など日本のトップリーグを担当する審判員が在籍しており、その経験を伝えながら底辺拡大と次世代のトップレフェリーの育成強化を図っている。